

1. 製品及び会社情報、製造所情報

製品名 強力配管洗浄剤グッドジョブ極A剤

会社名：株式会社ヘルスビューティー

住所：愛知県名古屋南区菊住二丁目5番8号

電話番号：052-618-7558

F A X：052-821-0919

製造所名：株式会社ヘルスビューティー 常滑工場

住所：愛知県常滑市久米字池田179

電話番号：0569-43-9111

F A X：0569-43-0039

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	：可燃性固体	：分類できない
	：自然発火性固体	：分類できない
健康に対する有害性	：急性毒性（経口）	：区分外
	：急性毒性（経皮）	：分類できない
	：急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	：区分4
	：皮膚腐食性・刺激性	：区分1C
	：眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：区分1
環境に対する有害性	：水生環境有害性（急性）	：区分3
	：水生環境有害性（長期間）	：分類できない

※記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または、「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報

：重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

: 吸入すると有害  
: 水生生物に有害

#### 注意書き

- 【安全対策】** : 取扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業して下さい。  
: 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しないこと。  
: 作業時は必ず防護メガネ、炊事用ゴム手袋、マスクを着用して下さい。
- 【救急処置】** : 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぎ、多量の水や牛乳、生卵を飲ませて  
ください。無理に吐かせないで速やかに医師の診断を受けてください。  
: 目に入った場合は、直ちに水で洗って下さい。コンタクトレンズをご  
使用の場合は、はずしてから洗眼し、速やかに医師の診断を受けて下さい。  
: 皮膚に付いた場合は、流水でよく洗い流して下さい。
- 【保管】** : 密栓した後、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。

---

### 3. 組成及び成分表示

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
官報公示整理番号（化審法） : 有り  
官報公示整理番号（安衛法） : 有り

#### 成分及び含有量

成分	含有量 (%)	CAS 番号
過炭酸ナトリウム	非公開	非公開
炭酸ナトリウム	非公開	非公開
アルコール系溶剤	非公開	非公開

---

### 4. 応急処置

眼に入った場合 直ちにまぶたを開いて、流水で15分以上洗浄した後、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。  
製品に触れた部分を多量の水または微温湯にて洗い流す。  
必要に応じて石鹼などを使い十分に洗い落とす。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合、速やかに医師の診断を受ける。

吸入した場合 鼻をかみ、うがいをさせる。被災者を新鮮な空気の場所に移動させ安静した後、速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 水を飲ませるなどの処置をし、直ちに医師の診察を受ける。

---

5. 火災時の処置

保護具	一般慣例に従う
消火方法	消火剤を用いて風上から消火する
消火剤	水、二酸化炭素、泡、粉末消火剤

---

6. 漏出時の措置 空容器にできるだけ回収し、その跡は大量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

7. 取り扱い上の注意	取り扱い時	<p>取り扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。</p> <p>取扱いは換気の良い場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないようにする。</p> <p>屋外での取扱いはできるだけ風上から行う。</p> <p>皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。</p>
	保管	<p>通風をよくし、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。火気、熱源より遠ざける。長期保管を避ける。</p>

8. 暴露防止措置	管理濃度	データ無し
	許容濃度	データ無し
	設備対策	多量の水を流せる設備。屋内の場合は換気設備。
	保護具	状況に応じて着用する。
	保護衣	状況に応じて着用する。

9. 物理/化学的性質	外観等	白色顆粒状
	におい	やや特異臭を有する
	沸点	不明
	蒸気圧	不明
	蒸気比重	不明
	揮発性	無し
	融点	不明
	比重又は嵩比重	1.16 g/cm <sup>3</sup>
水溶解性	可溶	

10. 安定性及び反応性	引火点	不燃
	発火性	不燃
	爆発限界	知見なし（原材料の性質より爆発性はないものと考えられる。）
	可燃性	不燃
	酸化性	有り
	自己反応性・爆発性	知見なし（原材料の性質より自己反応性・爆発性はないものと考えられる。）
	安定性・反応性	通常の手取り扱い条件下で安定
	その他の情報	特記事項無し

11. 有害性情報	皮膚腐食性	やけど（薬傷）を起こすことがある。
	皮膚刺激性	やや刺激性有り
	眼刺激性	刺激性有り。失明することがある。
	感作性	知見なし
	急性毒性	知見なし
	亜急性毒性	知見なし

慢性毒性	知見なし
ガン原性	知見なし
変異原性	知見なし
生殖毒性	知見なし
催奇形性	知見なし

12. 環境影響情報	分解性	自然界で分解される。
	蓄積性	認められていない。
	魚毒性	知見なし
	その他情報	製品・高濃度の溶液を直接河川及び浄化槽に流さない。

13. 廃棄上の注意	多量の水で希釈して流す。 製品の容器及び包装は各自治体の廃棄規則に従い廃棄すること。
------------	---

14. 輸送上の注意	容器の破損、漏れのないことを確かめる。 荷崩れ防止を確実にを行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 湿気、直射日光を避ける。
------------	--

15. 適用法令	労働安全衛生法施行令	非該当
	毒・劇物取締法	非該当
	消防法	非該当
	化学物質管理促進法	非該当

16. その他	事故・災害事例	記載される情報はない。
	問い合わせ先	製造者情報の項を参照。
	引用文献	「製品安全データシートの作成指針」 (社)日本化学工業協会編 「GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル」 厚生労働省医薬食品局

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分保障するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。

使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。

1. 製品および会社情報、製造所情報

製 品 名 強力配管洗浄剤グッドジョブ極 B 剤

会 社 名：株式会社ヘルスビューティー  
住 所：愛知県名古屋市中区菊住二丁目 5 番 8 号  
電話番号：052-618-7558  
F A X：052-821-0919

製造所名：株式会社ヘルスビューティー 常滑工場  
住 所：愛知県常滑市久米字池田 179  
電話番号：0569-43-9111  
F A X：0569-43-0039

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	：可燃性固体	：分類できない
	：自然発火性固体	：分類できない
健康に対する有害性	：急性毒性（経口）	：区分外
	：急性毒性（経皮）	：分類できない
	：急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	：分類できない
	：皮膚腐食性・刺激性	：分類できない
環境に対する有害性	：水生環境有害性（急性）	：分類できない
	：水生環境有害性（長期間）	：分類できない

※記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または、「分類できない」である。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：シンボル無し

注意喚起語：無し

危険有害性情報：無し

注意書き

- 【安全対策】 : 取扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業して下さい。  
: 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しないこと。  
: 作業時は必ず防護メガネ、炊事用ゴム手袋、マスクを着用して下さい。
- 【救急処置】 : 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぎ、多量の水や牛乳、生卵を飲ませて  
: ください。無理に吐かせないで速やかに医師の診断を受けてください。  
: 目に入った場合は、直ちによく水で洗って下さい。コンタクトレンズをご  
: 使用の場合は、はずしてから洗眼し、速やかに医師の診断を受けて下さい。  
: 皮膚に付いた場合は、流水でよく洗い流して下さい。
- 【保管】 : 密栓した後、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。

---

3. 組成及び成分表示

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物  
官報公示整理番号（化審法） : 有り  
官報公示整理番号（安衛法） : 有り  
成分及び含有量

※危険有害性を有する成分は配合していない

成分	含有量 (%)	CAS 番号
漂白活性化剤	非公開	非公開

---

4. 応急処置

眼に入った場合	直ちにまぶたを開いて、流水で15分以上洗浄した後、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。 製品に触れた部分を多量の水または微温湯にて洗い流す。必要に応じて石鹼などを使い十分に洗い落とす。 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合、速やかに医師の診断を受ける。
吸入した場合	鼻をかみ、うがいをさせる。被災者を新鮮な空気の場合に移動させ安静した後、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水を飲ませるなどの処置をし、直ちに医師の診察を受ける。

---

5. 火災時の処置	保護具	一般慣例に従う
	消火方法	消火剤を用いて風上から消火する
	消火剤	水、二酸化炭素、泡、粉末消火剤

---

6. 漏出時の措置

空容器にできるだけ回収し、その跡は大量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

7. 取り扱い上の注意	取り扱い時	<p>取り扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。</p> <p>取扱いは換気の良い場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないようにする。</p> <p>屋外での取扱いはできるだけ風上から行う。</p> <p>皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。</p>
	保管	<p>通風をよくし、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。火気、熱源より遠ざける。長期保管を避ける。</p>

8. 暴露防止措置	管理濃度	データ無し
	許容濃度	データ無し
	設備対策	多量の水を流せる設備。屋内の場合は換気設備。
	保護具	状況に応じて着用する。
	保護衣	状況に応じて着用する。

9. 物理/化学的性質	外観等	白色顆粒状
	におい	特異臭
	沸点	不明
	蒸気圧	不明
	蒸気比重	不明
	揮発性	無し
	融点	不明
	比重又は嵩比重	0.43 g/cm <sup>3</sup>
水溶解性	1g/L (20°C)	

10. 安定性及び反応性	引火点	不燃
	発火性	不燃
	爆発限界	有り
	可燃性	不燃
	酸化性	無し
	自己反応性・爆発性	<p>ダストが空気中に十分な濃度で放出されると爆発性の混合物を形成するため、表面にダストを蓄積させてはならない。</p> <p>酸化剤とは混触禁止。</p>
	安定性	通常の状態では安定。
	危険有害な分解生成物	一酸化炭素及び二酸化炭素、酸化窒素 (NO <sub>x</sub> )
	その他の情報	特記事項無し
		強力配管洗浄剤グッドジョブ極B剤 3/4

11. 有害性情報	皮膚腐食性 皮膚刺激性 眼刺激性 感作性 急性毒性 亜急性毒性 慢性毒性 ガン原性 変異原性 生殖毒性 催奇形性	皮膚腐食なし 皮膚刺激なし 眼への刺激なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 知見なし 催奇影響なし
12. 環境影響情報	分解性 蓄積性 魚毒性 その他情報	自然界で分解される。 生物への蓄積は予想されない。 知見なし 製品・高濃度の溶液を直接河川及び浄化槽に流さない。
13. 廃棄上の注意	多量の水で希釈して流す。 製品の容器及び包装は各自自治体の廃棄規則に従い廃棄すること。	
14. 輸送上の注意	容器の破損、漏れのないことを確かめる。 荷崩れ防止を確実にを行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 湿気、直射日光を避ける。	
15. 適用法令	化審法 労働安全衛生法施行令 毒・劇物取締法 消防法 化学物質管理促進法	既存化学物質 2-3577、7-97 既存化学物質 2-(6)-1230 非該当 非該当 非該当
16. その他	事故・災害事例 問い合わせ先 引用文献	記載される情報はない。 製造者情報の項を参照。 「製品安全データシートの作成指針」 (社)日本化学工業協会編 「GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル」 厚生労働省医薬食品局

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分保障するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。

使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。



## 1. 製品および会社情報

## 製 品 名

強力配管洗浄剤グッドジョブ極 C剤

会 社 名：株式会社ヘルスビューティー

住 所：愛知県名古屋市中区菊住二丁目5番8号

電話番号：052-618-7558

F A X：052-821-0919

製造所名：株式会社ヘルスビューティー 常滑工場

住 所：愛知県常滑市久米字池田179

電話番号：0569-43-9111

F A X：0569-43-0039

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康に対する有害性	：急性毒性（経口）	区分4
	：眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	：呼吸器感作性	区分1
	：皮膚感作性	区分1
	：特定標的臓器毒性（単回曝露）	区分3（気道刺激性）
環境に対する有害性	：水生環境有害性（急性）	区分3
	：水生環境有害性（長期間）	区分3

上記に記載のない危険有害性区分は「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

## GHSラベル要素



絵表示又はシンボル：

注意喚起語	：危険
危険有害性情報	：飲み込むと有害
	：重篤な眼の損傷
	：吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
	：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	：呼吸器への刺激のおそれ
	：水生生物に有害

: 長期継続的影響により水生生物に有害

#### 注意書き

- 【安全対策】 : 取扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業して下さい。  
: 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しないこと。  
: 作業時は必ず防護メガネ、炊事用ゴム手袋、マスクを着用して下さい。
- 【救急処置】 : 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぎ、多量の水や牛乳、生卵を飲ませて  
ください。無理に吐かせないで速やかに医師の診断を受けてください。  
: 目に入った場合は、直ちに水で洗って下さい。コンタクトレンズをご  
使用の場合は、はずしてから洗眼し、速やかに医師の診断を受けて下さい。  
: 皮膚に付いた場合は、流水でよく洗い流して下さい。
- 【保管】 : 密栓した後、高温多湿の場所を避け、直射日光が当たらない冷暗所に  
保管する。

---

### 3. 組成及び成分表示

化学物質・混合物の区別 : 単一製品  
官報公示整理番号（化審法） : 有り  
官報公示整理番号（安衛法） : 有り

#### 成分及び含有量

成分	含有量 (%)	CAS 番号
ピロ亜硫酸ナトリウム	非公開	非公開

---

### 4. 応急処置

眼に入った場合	直ちにまぶたを開いて、流水で 15 分以上洗浄した後、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。 製品に触れた部分を多量の水または微温湯にて洗い流す。必要に応じて石鹼などを使い十分に洗い落とす。
吸入した場合	直ちに空気の新鮮な場所に移し、口内、鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水を飲ませるなどの処置をし、直ちに医師の診察を受ける。

---

5. 火災時の処置	消火方法	不燃性につき該当せず。
	消火剤	不燃性につき該当せず。

---

6. 漏出時の措置	保護具を着用し、ふき取る、吸い取るなどできるだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。作業は風上で行う。
-----------	---

---

7. 取り扱い上の注意	取り扱い時	保護具を着用し、強酸及び酸化剤と急激に混合しない。 屋外での取り扱いはできるだけ風上から行う。 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように する。取り扱い後は、手、顔などをよく洗う。
	保管	密栓した後、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。

---

8. 暴露防止措置	管理濃度	未設定
	許容濃度	ACGIH TLV-TWA 5mg/m <sup>3</sup>
	設備対策	多量の水を流せる設備。屋内の場合は換気設備。
	保護具	状況に応じて着用する。
	保護衣	状況に応じて着用する。

---

9. 物理/化学的性質	外観等	白色結晶性粉末
	におい	SO <sub>2</sub> 臭
	pH	データなし
	沸点	非該当。加熱により分解し、Na <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> を形成
	蒸気圧	非該当
	蒸気比重	非該当
	揮発性	無し
	融点	150°C以上で分解し、二酸化イオウを発生
	比重又は嵩比重	1.48 g/cm <sup>3</sup>
水溶解性	470g/L	

---

10. 安定性及び反応性	発火性	発火せず。水と反応しない。
	爆発限界	爆発性なし。
	可燃性	なし
	酸化性	なし（強還元剤）
	自己反応性・爆発性	なし
	安定性・反応性	常温空気中では徐々に SO <sub>2</sub> を放出し、酸化されて 硫酸ナトリウムになる。加熱により分解し、二酸 化硫黄の有毒ガスを発生する。
	金属腐食性	本品の水溶液は金属腐食性を有する。
	その他の情報	強い還元性を有する。 酸類と混触すると、亜硫酸ガスが急激に発生し 有害。

---

11. 有害性情報	皮膚腐食性	皮膚組織に損傷有り
	皮膚刺激性	刺激性有り
	眼刺激性	刺激性有り
	感作性	アレルゲンの一つである。
	急性毒性	LD50 (経口) ラット 1,540mg/kg (SIDS(2001)、EPA Pesticides(2007))
	亜急性毒性	知見なし
	慢性毒性	歯牙酸食症、気管支炎、胃腸障害、鼻腔頭炎を起こすこともある。
	ガン原性	知見なし
	変異原性	知見なし
	生殖毒性	知見なし
	催奇形性	知見なし

---

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性) EC50 Daphnia magna(オオミジンコ甲殻類) 48 時間 = 8.9 ppm  
 LC50 Daphnia magna(オオミジンコ甲殻類) 48 時間 = 11.6 ppm  
 河川・下水等へ流出すると、水中の溶存酸素と反応し酸素欠乏状態となる (COD 値を高める) ので、高濃度では水中生物に危険である。

水生環境有害性 (長期的) 自然環境下で酸化されて無害化し、蓄積性もないと考えられる。

---

13. 廃棄上の注意 酸化剤で酸化処理後、中和、廃棄する。  
 製品の容器及び包装は各自治体の廃棄規則に従い廃棄すること。

---

14. 輸送上の注意 容器の破損、漏れのないことを確かめる。  
 荷崩れ防止を確実にを行う。  
 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	第 57 条の 2 (通知対象物質) No. 412 二亜硫酸ナトリウム
毒・劇物取締法	非該当
消防法	非該当
化学物質管理促進法	非該当

---

16. そ の 他	事故・災害事例	記載される情報はない。
	問い合わせ先	製造者情報の項を参照。
	引用文献	「製品安全データシートの作成指針」 (社) 日本化学工業協会編 「GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル」 厚生労働省医薬食品局

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分保障するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。